



## 今月の記事

たん吸引と経管栄養

研修報告

やまびこ会

機能訓練指導員

今月の愛の園



## たん吸引と胃ろうによる経管栄養

近年、特別養護老人ホームでは入居者への医療的ケアの必要性が高まり、ことに日常的なたんの吸引や経管栄養への対応が増加しています。しかしこれらは医療行為であって医師や看護職員しか施行できないため、看護職員の配置が少ない特養では、該当者の新規受入れを制限しなければならないこともあります。

こうした状況を改善するため今年4月から、定められた手続きと手順によって、指定された研修を修了した介護職員が、医師や看護職員との連携のもとに、口腔内のたんの吸引と胃ろうによる経管栄養が施行できるようになります。

そのための研修として山中看護師の指導で全14時間の講義と実技が1月より始まり、4月末には全看護・介護職員が修了する予定です。

実際の施行にあたっては、事前に対象となる入居者とご家族の皆さんに施設としての対応方法を説明し、書面によって同意の意思表示をしていただくこととなりますので、別途お知らせいたします。

これからも看護・介護職員に止まらず全ての職種が連携した協働に努め、医療的ケアが安全・確実に行われ、ケアの質が保たれた安楽な生活を支援できるよう努力してまいります。ご不明な点がありましたらお問い合わせください。



看護師による研修を業務後に行っています

ユニットリーダー 介護職員

山本哲史 中山祐貴

上富田町リハビリ教室



エントランスに飾られた雛人形。皆さん懐かしそうにご覧になっています

## 研修に参加しました

### ユニットリーダー研修

ユニットリーダー研修に参加し、既にユニットケアに取り組んでいる施設やこれから新設される施設でも、抱えている問題は似ていることが多々あり、如何に職員の意識を高め向上させていくかが問われ、その為の基本となる理念や施設としてどのように進めていくかを、職員一人ひとりが理解し浸透させることの重要性を学びました。また、施設実習で入居者体験をした事により、入居者の立場に立ち入居者の目線で考えると施設での取り組みや改善するべきところなど課題が沢山見えてきました。

研修で学んだことをケアワーカーだけでなく他職種の職員にも伝え、ご家族の皆さんにもご協力を仰ぎながら、少しずつでも入居者の皆さんが満足できる暮らしをサポートできるよう研鑽していきたいと強く思いました。(山本哲史)

昨年4月から1ヶ月1回、ほぼ1年を通してリハビリ教室を受講しました。1時間の講義を受け、その後1時間は実技による勉強でした。受講生は福祉関係の方、主婦、これから家庭で介護に役立てたいという方々でした。介護にあたっての基礎から、深い部分まで講師の先生方が熱心に教えてくださいました。お話だけでは理解しにくいことや実技もあり、また車イス走行や受講生同士で良肢位枕の使い方を学びました。いつもは介助する側ですが、実際に体験することで分りやすく、介助されている側の気持ちも分りました。また、介護保険、障がい者(児)、認知症の脳の仕組みなど、専門の先生に教えていただいたことが勉強になり印象に残っています。1年間は長かったですを受講してとても勉強になりました。今後の仕事に活かしたいです。(中山祐貴)



## 支えてくださる人々 やまびこ会 にいや けい 新谷 慶さん

やまびこ会は、毎週木曜日に愛の園の入居者の方々約30余名と歌を通して楽しく交流をして10年余りになります。

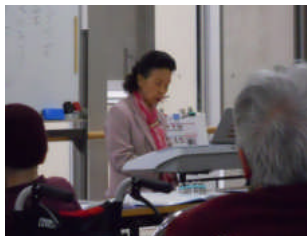
曲目は唱歌や童謡を中心に、歌謡曲や民謡、讃美歌と広がっています。今ではアルバム2冊、160曲を季節に応じて歌っております。

会を開くにあたって、入居者の皆さんを各ユニットからお連れし、一緒に歌う曲を譜めくりし、終わってからユニットへお送りするのは、ステパノ館でのコーラスグループ「コール・ステファーナ」のメンバーの、小泉さん、森下さん、松本さん、武井さん姉妹、それに鳥居さんらが手伝ってくださっています。また毎週の会場は愛の園の職員の方々が準備して下さいます。皆さんの助けがあってやまびこ会を続けることが出来ています。ありがとうございます。

小さい頃に覚えた歌は節をつけて歌い出すと鮮やかに記憶が蘇るものです。音楽療法も取入れて、歌い、手を叩き、足を踏みならし、楽しく行っております。

民謡の中では「串本節」がダントツの人気で皆さんが喜びます。また皆さんと一人ずつ向き合って「大和古歌」調でジャンケンポンをいたしますが、これがなかなか皆さん本気で挑んできて、勝っても負けても歓声が上がります。

こうして和気あいあいの一時が持てるのは、本当にありがたいことと思っております。感謝。



キーボードを弾きながら指導する新谷さん(上)と、コール・ステファーナの皆さん(右)



## 私の仕事 (5) 機能訓練指導員 太田剛史

愛の園での機能訓練は日曜日を除く6日間、入居されている皆さん、ショートステイサービスとデイサービスを利用されている皆さんのリハビリテーションを各階ごとに行い、1日約100名の方々が参加されています。参加される方々は、機能訓練のことを「健康教室」と呼び、学校に行く様な感覚で楽しく参加されています。

機能訓練室として一番目に行くことは、リハビリを受ける方々の状態(性格、障がいの程度、痛みの有無等)を観察させていただき、その方に合った個人プログラムを理学療法士と共に作成することです。

高齢の方々は予備体力が少なく、また色々な病気が存在するため、あまり無理なことは出来ませんので、身体機能の維持を目標としています。人間は何もせず一日中

寝ているとすぐに意欲が低下してしまい、廃用性症候群という関節の拘縮や筋力の低下等を起こし寝たきり状態になってしまいます。いくつになっても意欲的な生活を送る様に努めたいものです。

4ヶ月に1度、入居者の皆さんのご家族に「個別機能訓練計画に対する同意書」をお送りしています。内容をご確認いただき、訓練に対するご意見や要望等ありましたら遠慮なく記入いただきたくお願いいたします。



「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。  
Web サイト アドレス:  
<http://shinai.or.jp>



## 3 ~ 4月の愛の園

- 10木 やまびこ会・社協ボランティア
- 13日 日曜礼拝・大塔あすなる楽団
- 15火 マリア会
- 16水 手芸サークル
- 17木 やまびこ会
- 20日 日曜礼拝・おめかしクラブ
- 22火 ひまわり会  
マリモと愉快的仲間達
- 24木 やまびこ会
- 27日 日曜礼拝
- 29火 マリア会
- 31木 やまびこ会
- 3日 日曜礼拝
- 5火 マリア会

## 編集者から

町内にある県立熊野高校の卒業式に列席し、愛の園で実習された福祉コースと看護科の生徒たちの旅立ちを見送る機会をいただきました。4月から社会人となってそれぞれの場所で専門職として働く彼らの颯爽とした誇らしげな姿は、頼もしさと希望を感じさせてくれるものでした。愛の園へも総合学科から1名の就職が内定しています。

生徒本人と見守る家族、指導する先生方の卒業までの努力に敬意を表するとともに、実習施設として彼らの成長に細やかですが貢献できたことをうれしく思います。(A)